

蒲西われら

『われら』の『わ』は『3わ』
和・話・輪

蒲郡西部小学校 校長室だより
校長 星野 佳子
第14(136)号 令和5年7月18日

暑さに負けず！いきいき ひじりっ子！

地域とつながる授業づくり④

1・2年生 生活科「ぼく・わたしのピカピカどろだんごを作ろう！！」

■「さらさらどろどろいい気持ち」どろ遊び（図工）からどろだんご作り（生活科）へ！

1・2年生合同の図工・生活科。「また、どろだんごを作りたい！」昨年度の「カチカチどろだんご」に引き続き、やっぱり子どもたちをひきつけ夢中にさせるどろだんごの魅力。今年度は、1年生から声が上がった「ピカピカどろだんご」に挑戦しました！



■ 6/22（木）どろだんご名人（おたからさん）との出会い

「ピカピカのどろだんごってどんなだろう？見てみたい！」そこで、どろだんご名人の大森さんに見せていただきました。「22歳のどろだんごだって、



ずっとツルツルピカピカのままなんてすごい！」

「大事に毎日お世話するとピカピカになるんだって！」たくさんのコツをまとめた『秘伝書』もいただきました。どの土がいいかなあ。丸くなら「さらこな」や「ふわこな」をかけてこすろう。放課になると、自分のどろだんごを大事そう

に抱えて、嬉しそうに校庭を行き来する子どもたち。「見て見て！」どの子も真剣です。授業を重ねるたびに姿を変える「ぼく・わたしのどろだんご」。でも名人のどろだんごには、まだまだ遠い…。

■ 7/13（木）ピカピカにするこすり方のコツは？

どんなふうにこすったら「もっとピカピカのどろだんご」ができるんだろう？コツに気付く⇒コツを伝えたい⇒コツを生かしてもっとこうしたい！この日は、蒲西小の先生方をはじめ、愛知教育大学の加納誠司教授、大学院生の方々など、たくさんのお客さんが授業



を参観しました。話し合いの中で、友達の意見をしっかりと聞き、自分の考えを堂々と発表したり、意見についてつぶやいたり。そして、自分のどろだんごをピカピカにするために、真剣なまなざしで試行錯誤する子どもたち。

参観した先生方から、その姿をたくさんほめていただきました。

■ 7/18（火）「ぼく・わたしのピカピカどろだんご」を名人さんに見てもらったよ！

名人の大森さんが来てくださり、どろだんごを一つ一つ丁寧に見てほめてくれたりアドバイスをくれたりしました。そして、一人一人に『ごほうびカード』を手渡してくれました。子どもたちは、大よろこび！宝物になった「ぼく・わたしのどろだんご」。今日持ち帰ったらまだまだお世話を続けて、ピカピカ度がもっとアップしそうですね！



7/7 (金) 6年生 ヨット体験授業に参加!

蒲郡は、セーリング日本選手権やアジア競技大会が開催されるなど、ヨットと関りが深いまちです。そこで、市民にもっと興味関心をもってもらうため、昨年度より小学生の体験授業が始まりました。

場所は、豊田自動織機海陽ヨットハーバー。参加校は市内で2校。今年度は、蒲西小と三谷東小でした。午前、大きなクルーザーとスナイブという2人乗りのヨットに乗る体験と座学「風とヨット」を受けました。昼食をはさんで午後は、不要になった蒲郡産のロープで犬を作るロープワークなどを行いました。大変心地のよい天候に恵まれ、迫力満点のヨット体験は、なかなか味わえないとても貴重な機会でした。世界でも有数の施設をもつ蒲郡。主催者の方は、この授業をきっかけに、ヨットに関心をもち親しむ市民が増えてほしいと話していました。



【お礼の手紙より一部を紹介】

○最初にクルーザーに乗って、運転もできて楽しかったです。風が涼しくて気持ちよかったです。ヨットについて学習する時間には、水に浮く形が分かりました。難しかったけど、たくさん知ることができました。スナイブは、クルーザーよりずっと小さかったけど、波があっっておもしろかったです。うちわ作りは、最初は上手くできなかつたけど、完成したら意外にきれいにできてよかったです。ロープの犬作りは、使えないロープで作れていいなと思いました。今回は、とてもいい体験になりました。(足立 琴)

○大きいヨットでは、船から足を出したり、前の方に行ったりするのが楽しかったです。風もすごく気持ちよかったです。小さいヨットに乗ったときは、大きいヨットよりも海が近くて速く感じて少し怖かったけど、乗せてくれた大学生の2人がたくさん話してくれて、楽しかったです。水がバシッとかがったのが、一番おもしろかったしスリルを感じました。不要なロープなどを使って、うちわや犬を作れることにも驚きました。今回、ヨット体験をして、また海に来て遊びたいと思います。(徳田 美月)



蒲西小8人はここ!「ヨット〜」のポーズ

7/12 (水) 4~6年生 着衣水泳「浮いて待て!」

消防署の方を講師に招き、今年度も水難事故に備えて講習を受けました。ポイントは①背浮きをする②浮きになる物を胸に抱えて浮いて待つ③声を出さない④手を挙げない。「助けて〜!」と大声を出すと、肺の中の空気がしぼんで沈んでしまうそうです。また、手を挙げたり、バタバタもがいたりするのも沈んでしまいます。

おぼれている人を発見したら自分で助けようとせずに、まず助けを呼び、119番通報すること。ペットボトルなどの身近な浮きになる物を投げ入れ「浮いて待て!」と励ますこと。

昨年度も講習を受けた5・6年生は、とても上手でした。経験するたびに上手くなりますね。初めての4年生もしだいにコツをつかみ、上手に背浮きができるようになりました。講習を受けても、水の事故にはくれぐれも注意してくださいね。



★「写真のネット販売」お知らせ★ お待たせしました!

- ・本日「インターネット写真販売のご案内」を、全児童に配付しました。よく読んでご利用ください。
- ・写真は、7/20 (木) から見るができます。注文期間は、7/20 (木) ~7/31 (月) です。